



社協 陵南地区だより

第 54 号

令和5年7月1日発行



陵南地区社会福祉協議会

社会福祉協議会 会員を募集中です。

募集期間 6月1日～7月31日
 世帯会員 500円(1口)(複数口も歓迎です)
 令和4年度 加入世帯数 1,708世帯 口数 1,719口



この機関誌にも、
 社会福祉協議会の
 会費が使われてい
 ます。



加入世帯数は減少しています。

皆様の温かいお心により支えられる地域福祉へのご理解をお願いします。

陵南地区では、下表のイベントなどに使われます。

陵南地区社協が目指す姿

老いも若きも、元気な者で支え見守るまちづくり

令和5年度 陵南地区の主な事業計画

近隣ケアグループ研修会	6月	各地区近隣ケアグループが一堂に集まり研修会
親子ふれあい交流会	7月	小学生以下の親子とのふれあい
地域コミュニティ福祉座談会	10月	地域が抱えている問題や困りごとなどの話し合い
友 愛 訪 問	11・12月	70歳以上の一人暮らし、75歳以上夫婦のみ、寝たきり、90歳以上の方々等の世帯を訪問
健康ふれあい麻雀大会	11月	65歳以上の高齢者を対象にした麻雀大会
ボランティアハウス訪問	11月	朝日・大伊木・大牧 各地区ボランティアハウス訪問
「陵南地区だより」の発行	7・3月	第54号(7月)・第55号(3月)の発行

※7月に予定されていた健康ふれあい麻雀大会は11月に変更します。

陵南地区役員紹介

役職名	氏名	備考
会長	岡部 錠司	前大伊木町区長
副会長	小池 保夫	朝日町自治会連合会 社協担当
理事	岡部 光則	大伊木町区長
	小川 洋一	大牧団地自治会長
	武藤 和彦	前理事
	嶺口 信孝	民生委員児童委員(朝日町1丁目担当)
	山口 雅己	(朝日町2丁目北担当)
	野崎 桂子	(朝日町2丁目南担当)
	前田 幸正	(朝日町3丁目・大牧団地担当)
	福田 文和	(朝日町4丁目西担当)
	大畑 彼三	(朝日町4丁目東担当)
	廣瀬 久雄	(朝日町5丁目西担当)
	伊藤 正子	(朝日町5丁目東・南担当)
	西尾 あき	(大伊木町西・東担当)
	小池 清司	主任児童委員
	杉山 秀樹	朝日町シニアクラブ代表
	梶山 尚子	大牧団地シニアクラブ代表
	服部 光成	陵南地区近隣ケアグループ総代表
	岡部 明美	朝日地区近隣ケアグループ代表
	及川 茂	大伊木町近隣ケアグループ総代表
推進員	藤本 みどり	大牧団地近隣ケアグループ総代表
	嶺本 信孝	事務局(書記担当)
	山本 勇二	事務局(会計担当)・理事兼務
顧問	五十川 玲子	陵南小学校校長
	藤井 英樹	各務原市 市議会議員
	伊藤 勝幸	朝日町自治会連合会 会計担当
	伊藤 拓郎	大伊木町副区長
評議員	山田 征次	陵南自治会連合会会長・朝日町5丁目西自治会長
	山田 美次	朝日町自治会連合会副会長・朝日町1丁目自治会長
	澤野 和徹	朝日町自治会連合会副会長・朝日町5丁目東自治会長
	小林 徹	朝日町3丁目自治会長
	中村 太津男	朝日町4丁目西自治会長
	高橋 雅	朝日町4丁目東自治会長
	浅野 敬一	朝日町5丁目南自治会長
	早野 孔禪	陵南小学校区青少年育成市民会議推進委員長
	加藤 真衣	陵南小学校PTA会長
	伊藤 えりか	中央中学校PTA 陵南地区ブロック代表
	三品 潤子	陵南小学校区子ども会本部代表書記
	古川 順一	陵南小学校区体育振興会委員長
	棚橋 とみえ	ボランティアハウス「はなみずぎ」代表
	山田 利久	ボランティアハウス「大伊木あじさい」代表
	大江 佳久	ボランティアハウス「大牧いきいきサロン」代表

近隣ケアグループの紹介

身近な自治会単位で、声掛けや見守りを行っています。

グループ名	代表者	人数	グループ名	代表者	人数
朝日町1丁目あさつき会	菅原 雅子	3	朝日町5丁目西	服部 光成	7
朝日町2丁目北	水野知恵子	5	朝日町5丁目東	廣瀬 博子	4
朝日町2丁目南	佐伯 裕一	4	朝日町5丁目南	三輪 弥奈美	4
朝日町3丁目	和田佐智子	5	大伊木町東	伊藤 洵子	3
朝日町4丁目西	前川 裕美	5	大伊木町西	岡部 明美	3
朝日町4丁目東	梶 尚子	5	大牧団地	及川 茂	6

サステイナブルな地域と学校の関係

陵南小学校 校長 山本 勇二

○サステイナブルな地域の活動「古墳整備」

「サステイナブル(sustainable)」という言葉聞く機会が多くなっていませんか。「持続可能な」という意味をもち、「SDGs(持続可能な開発目標)」の「S」も「sustainable」の頭文字をとったものです。英語表記や頭文字をとったアルファベット表記のものが多くなり、「理解が難しい。」と嘆いているのは私だけでしょうか。今回は、自分の勉強のためにも、あえて英語等を使った表記にしてみました。



前置きはさておき、地域と学校が関わっている活動において「サステイナブル(持続可能な)」という点で、心配している活動があります。皆さんもご存じの通り、陵南小学校は、校地内に古墳がある全国でも数少ない学校です。その古墳を開校当初から、年2回、地域のシニアクラブの方々を中心となって、ボランティアで草刈り等の整備をしてくださっています。しかし、その方々の高齢化が徐々に進み、急な斜面の草刈りなどが困難になっている方もみえます。今後、若い方が増えていかないと、この活動は、サステイナブルな活動ではなくなっていく心配があります。

○50年後もサステイナブルな地域活動として続いてほしい

この活動を50年後に引き継いでいるのは、今、陵南小で学んでいる子どもたちです。陵南小の学校教育目標「やさしい心で たくましく 陵南をほこりに思う子」の下、「陵南小校区をほこりに思う子」になってほしいと思い、以下のような教育実践を行っています。

- ①市共通のボランティア手帳を活用し、ボランティアを推奨し、誰かの役に立てたときの喜びや自己有用感を味わえるようにしています。50回達成した児童には、陵南小キャラクターのニコリンの缶バッジを渡しています。黄色の安全帽子に付けている子が多いので、付けている子を見たら、「ボランティアがんばってるんだね。」と声をかけてあげてください。
- ②4年生の総合学習では「福祉」をテーマとして、障害がある方の気持ちや不自由さを理解し、現在、または将来にわたって自分たちにできることは何かを学習しています。昨年度は、介助犬とともに暮らしている方のお話を聞いたり、自分たちが装具を付けて体の動きが不自由な方の体験をしたりして、障害者や高齢者の気持ちや不自由さを学びました。
- ③よいところ見つけを毎日行い、自分の良さに気づいたり、仲間に認めてもらったりして、自己肯定感を高めています。
- ④古墳整備等地域の方々への活動は、必ず学校だよりで児童や保護者に知らせ、感謝の気持ちを伝えています。

AIの進歩や不安定な社会情勢など、これまでにないスピードで社会が変化しています。そんな中でも不変であってほしいことは、地域を大切にする心や人とのつながりです。50年後に今の子どもたちが引き継げるように、この地域活動が続いてほしいです。

『親子ふれあい交流会』

3年ぶりに親子ふれあい交流会を開催します。幼児から小学生まで楽しめるイベントにご期待ください。

★日時 7月30日(日)
10:00～

★場所 陵南福祉センター
集会室

(申込は別途案内します)



松山ゆかりさんとサスケ

第一部 介助犬のお仕事

市内在住の松山ゆかりさんから介助犬サスケとの生活についてお話を聞いたり、どんなお仕事をしているのか実演してもらいます。

第二部 ボッチャの競技体験

パラリンピックの正式種目でもあり、年齢、性別、障害のあるなしにかかわらず、全ての人と一緒に競い合えるスポーツを親子で体験しましょう。



『子どもを交通事故から守りましょう』

- ・新一年生も通学に慣れてきた時期で、予期しない行動が想定されます。特に登下校時の通学路内では細心の注意をお願いします。
- ・放課後、まちかどで**子どもを見たらまず徐行**をお願いします。
- ・「陵南地区において、交通事故は起こさない」との思いを込めて安全運転で毎日を楽しく過ごしましょう。